クロッシング・ガード（1995）

THE CROSSING GUARD

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 101分
初公開日 1996/11/09
公開情報 東北新社

【解説】

「インディアン・ランナー」でアメリカン・ニューシネマの良質な部分を見事に再生させながら、力強く普遍な人間ドラマをを構築してみせたＳ・ペンが、満を持して放った新作は前作に勝るとも劣らない力作だ。幼い娘を自動車事故で失ったフレディ（ニコルソン）は、その犯人ジョンの過失を許そうとせず、刑期が終わるのを指折り数えて待っていた。フレディの頭の中には報復の二文字しかなく、そんな彼に妻（ヒューストン）はとっくに愛想を尽かし、よその男の下に走っていた。一方、新たな人生に踏み出すジョンを周囲の人々は温かく迎えるが、罪の意識拭い難く彼は一人苦しむ。そこへ突如現れたフレディ。一度ジョンを仕留め損ねた彼は、報復の最後通牒を突き付けるのだが……。

表題はいわゆる緑のおばさんの意味。作品が交通事故を主題にしていることでの直喩だが、人生の交差点で橋渡しをしてくれる他者はおらず、進んで行くには常に自力でなくてはならない……といった含みが込められている。心に傷を負ったものたちの赦しと癒しを描いて、献辞を捧げる作家、故Ｈ・Ｃ・ブコウスキーの小説世界を凌駕する魂の震えを呼ぶ。ジョン役のＤ・モースが素晴しく、脇役のアンサンブルも完璧に近い。

【クレジット】

監督	ショーン・ペン	Sean Penn
製作	ショーン・ペン	Sean Penn
	デヴィッド・Ｓ・ハンバーガー	David S. Humberger
脚本	ショーン・ペン	Sean Penn
撮影	ヴィルモス・ジグモンド	Vilmos Zsigmond
出演	ジャック・ニコルソン	Jack Nicholson
	デヴィッド・モース	David Morse
	ロビン・ライト	Robin Wright
	パイパー・ローリー	Piper Laurie
	リチャード・ブラッドフォード	Richard Bradford
	ロビー・ロバートソン	Robbie Robertson
	石橋凌	Ryo Ishibashi
	カリ・ウーラー	Kari Wuhrer
	アンジェリカ・ヒューストン	Anjelica Huston

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.